

涌谷町立月将館小学校

校長名	山口 れい子	児童数	137名
住 所	遠田郡涌谷町涌谷字小人町1番地	電 話	0229-42-3030

校訓

- 一 学び続ける心
(日就月将に学び、自分を高めます)
- 一 やさしい心
(思いやり、助け合い、素直になります)
- 一 たくましい心
(志をもち、あきらめず、自分を鍛えます)



校名・校章

校名は、江戸末期の郷学「月将館」に由来している。

「月将」とは、中国の詩経の中に「日に就（な）り、月に将（すす）む。」とあり「就」は成る、「将」は進むの意味である。学業がどんどん進歩することで、日進月歩と同義である。

校章は、「日と月」を表している。

めざす学校像

- 喜んで登校 ○元気に帰宅
- 会いたい友達 ○会いたい先生
- 明日も行きたい魅力ある学校

学校教育目標

「めあてをもち共に努力する子どもの育成」

めざす児童像

- 心のやさしい子ども（徳）
- 進んで考える子ども（知）
- 健やかな子ども（体）

めざす教師像

- 信頼される教師
- 自律する教師
- 向上心のある教師

特色ある教育活動

【心のやさしい子ども】

- 認め合い、励まし合う学級づくりと、優しい心を育む授業の実践
- 上級生のよさに学び、伝統を継承する児童会活動の充実
- 道徳科の授業を要とした道徳教育の充実

【進んで考える子ども】

- 学習のめあてを持たせるとともに、終末のまとめを大切にした授業の実践
- 自立に向けて、できることは全て児童にさせ、認める指導の徹底
- 授業と家庭学習との循環による学習方法の定着

【健やかな子ども】

- 目標を設定し、励まし合って取り組む運動の推進
- 心身の健康や食生活等、望ましい基本的生活習慣の向上に向けた取組の充実
- 防災意識を高め、命を守る行動を身に付ける学習機会の設定

「オール月将館小学校」（学校、保護者、地域の連携・協働）の取組

月将館らしい教育

- ノーチャイムによる自律を促す時程の管理
- 学年を超えて仲が良い伝統を継承するたてわり班活動
- さきがけあいさつと歌声が響く学校

教育課題への対応

- 学習指導要領の趣旨を生かした教育課程の着実な実施
- 生徒指導の組織的取組の推進

家庭や地域との連携

- 三者面談や「学校生活の記録」による家庭と学校の情報共有と一体的な取組
- 地域に愛着を持たせる伝統芸能の継承（秋の山唄、お茶屋節おどり等）
- 教育活動の充実に向けた地域の外部講師や外部人材の積極的な活用
- 地域理解を深める活動等の推進

カリキュラム・マネジメント

- 「実践」段階を充実させるためのPDCAサイクルの活用
- 学校評議員会や学校評価を生かした教育課程経営の充実
- ICT活用及びwith COVID-19を踏まえた年間指導計画の整備と実践

学校段階間の連携

- 健やかな「涌谷町の子ども」を育てる幼保小や小中の連携と交流の推進

特別支援教育

- 支援を要する児童への早期対応と情報共有による組織的な取組
- 通級指導教室（ステップ教室）における指導環境の改善